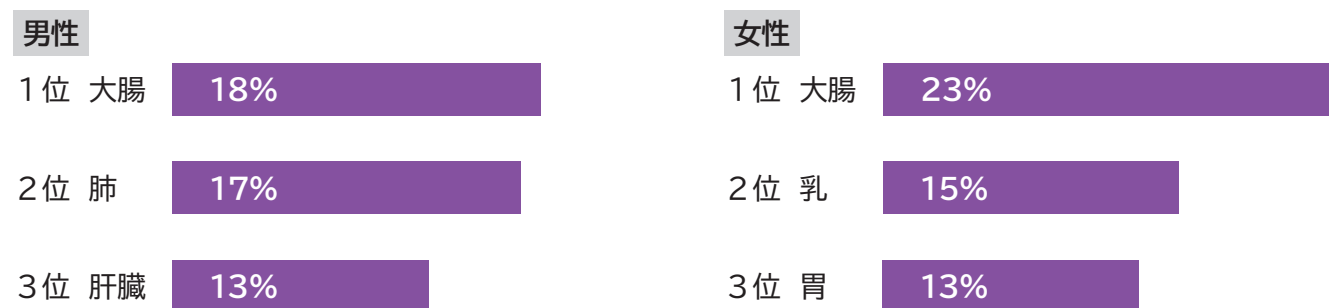
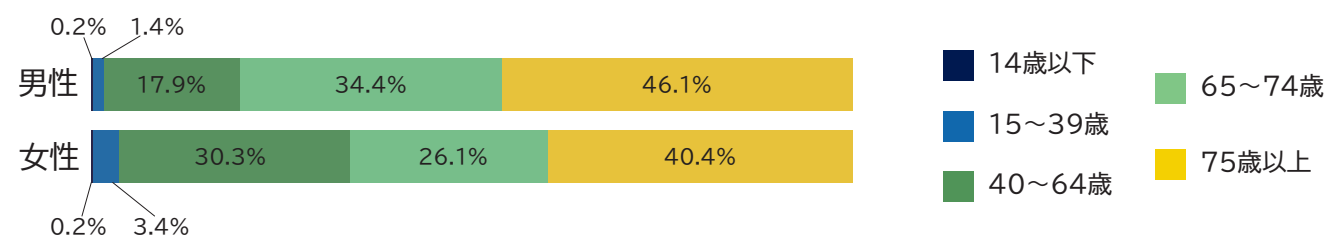


がん患者の状況（神川町・埼玉県）

【神川町のがん部位別順位】



【埼玉県のがん患者年代別割合】



がんになった人のうち、男性の約20%（5人に1人）、女性の約34%（3人に1人）が65歳未満です。若いからといってがんにならないという訳ではありません。

がんで亡くなる方の状況（埼玉県）

【埼玉県のがんが原因の死因部位別順位（年齢調整）】

男性	1位 肺	女性	1位 乳	埼玉県と神川町の死因で最も多いのがんです。がん患者の死
	2位 大腸		2位 大腸	因部位別順位でみると男女とも第2位が「大腸がん」です。大腸
	3位 胃		3位 肺	がんは食生活の欧米化もあり、この30年で6倍に増えています。

大腸がんは**早期発見・早期治療**すれば、ほぼ**治癒可能**です！

大腸がんは広がっていない初期の段階で見つければ、治る確率が約99%になることが分かっています。しかし初期段階では、無症状のため自分で気づくことは難しいです。そこで利用したいのが「がん検診」です。無症状のうちに検診を受診した場合、早期がんとして発見される可能性が高いです。検査は自宅で行える便潜血検査で、食事制限もない簡単な検査です。また、大腸がん以外にも大腸ポリープ（良性腫瘍）を発見して治療に結びつけることができます。

早期発見で高まる5年生存率

コロナ禍により検診を受診しなかった結果、病気が進行してしまった方が増加しています。早期発見ができれば、がんの5年生存率は85%以上です。早期発見には検診が不可欠です。

国はがん検診受診率の目標を60%としています。令和5年度の神川町がん検診受診率は平均10.9%でした。「症状がない、自分は健康だ、忙しい」などを理由に受診していない方が多いのではないのでしょうか？また、「がんだったらどうしよう…」とためらってしまう方もいるかもしれません。でも本当に怖いのは、気が付かない間に病気が進行してしまうことではないのでしょうか。

がん検診

受けていますか？

日本人の2人に1人ががんになる時代…！

早期発見・早期治療により命を守りましょう

問合せ 保健センター
☎0495-77-4041
FAX0495-77-0550

がん検診の目的は、自覚症状がまだない早期のがんを発見し適切な治療を行うことで、がんによる死亡リスクを減少させることです。

また検診には、メリットもデメリットもあります。がん検診のメリットとデメリットをよく理解して、皆さんの健康と安心のためがん検診を上手に活用してください。

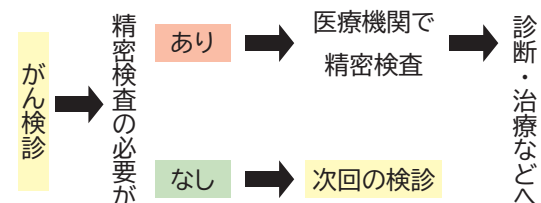
メリット

- 安心して生活を続けられる
- 早期発見により、がんによる死亡を減少させる
- 早期発見により身体的・経済的負担の少ない治療で済む
- がんになる手前の状態で治療することができ、がん発生の予防ができる

デメリット

- 検診や精密検査に伴う身体への負担（放射線被ばくやバリウムによる便秘、検査による出血など）
- 検査の結果が100%正しいわけではない

精密検査までが「がん検診」～受けて終わりにしないでください～



がん検診で要精密検査と判定された場合、それは「がんの疑いがある」状態です。町の検診では、年間で約150人の方が要精密検査と判定されます。しかしそのうちの約25%の方が精密検査を受けていません。より詳しい検査を行い、本当にかんか調べる必要があります。精密検査まで受けることではじめて、「身体的負担の軽い治療」「死亡するリスクが減少する」という早期発見のメリットにつながります。